

ユリルラリガ

©103ラクガキ本  
FOR ADULT ONLY

発情期に  
入ってしまった  
キキヨウ

「じ…焦らさないで…  
早っ…く…ッ」



シシシ

「ここか? ココが好きなのかキキョウ?」

ズッ

「それともココの奥も突いてほしいか?」

「ああ♡ソコ♡」

「こ...こらこらキミ達...ッ!  
今日のご褒美に何してもイイって言うたけどさあ」

「流石にツレをお尻に  
入れようなんて思っでないよねえ?」

「ね...ねえ...?キミ達...  
黙ったままニヤニヤされると  
さすがの船長も困るんだけど...(ドキドキ)」

もちろんケツ穴に  
根本までズッポリ  
入れてあげました♪

精神力を  
鍛える訓練で  
無茶を言われるデンジ

「デンジ君ならもっと我慢出来ると  
思うから…まだ出しちゃ駄目だよ？」

「どうじゃ！ワシのてくにつく  
最高じゃろ！ありがたく思え！」

「(どうしよう、どうしよう…こんなの  
私やったことないのにい〜〜〜)」

今日は便利屋68の皆から  
日頃の礼をしたいということで  
来てみたら……

「じゃーん！先生どお？  
先生の性癖のこと  
よくわかってるでしょう♡」

「アル様と  
肉便器になれる  
なんてハルカは幸せです♡」

「これはあくまでも今後も  
先生との円滑な関係である為の  
に…任務よ！」

「……ま……ま……  
そういう事だから  
先生……あとはわかるでしょ？」

フルアカ カヨコ アル ハルカ ムツキ♡



「はあっ♡あっ♡  
わ…私は貴方の肉便器なの♡♡♡」

何だかんだ言いながらも  
マスターの性癖好みに  
なってくれる邪ンヌ♡

専用♡  
肉便器♡  
正 正

なんだかんだ言いながらも年頃な二人♡

「はあ…はあ…俺…フェルンと繋がってる…ッ」

その頃フリーレンも  
ミミックと遊んでいた♡

















クニクニ

ズンズン

クニクニ

ズンズン

クニクニ

ズンズン

専用♡  
工肉便器♡

正 正

犯

ヤリタ

ズンズン

ズンズン

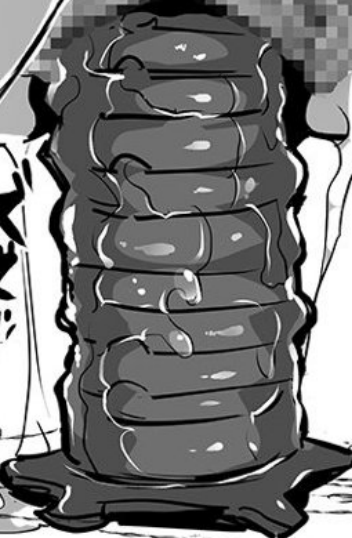
ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン







あま

あま

あま

助け...

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま